

## 平成19年3月定例会会議録（第3号）

平成19年3月7日 水曜日 午前10時00分開議

大 沼 久 議 長 蒲 生 光 男 副議長

### 出席議員（19名）

1 番 我 妻 昇 議員	4 番 谷 口 栄 子 議員
5 番 佐々木 謙 二 議員	6 番 安 部 隆 議員
7 番 町 田 義 昭 議員	8 番 鳥 谷 政 一 議員
9 番 蒲 生 光 男 議員	10 番 洪 谷 佐 輔 議員
11 番 高 橋 孝 夫 議員	12 番 鈴 木 武 次 議員
13 番 小 関 勝 助 議員	14 番 鈴 木 良 雄 議員
15 番 鈴 木 小 市 議員	16 番 藤 原 民 夫 議員
17 番 蒲 生 吉 夫 議員	18 番 佐々木 榮 七 議員
19 番 島 田 友 市 議員	20 番 鈴 木 新 助 議員
21 番 大 沼 久 議員	

+

### 欠席議員（0名）

### 欠 員（2名）

### 説明のため出席した者

内 谷 重 治 市 長	平 進 介 総務課長兼選挙管理委員会事務局長
松 本 弘 財 政 課 長	松 木 幸 嗣 企 画 調 整 課 長
中 井 晃 税 務 課 長	小 泉 良 一 市 民 課 長
船 山 祐 子 健 康 課 長	平 英 一 福 祉 事 務 所 長
高 橋 信 夫 会 計 課 長	金 田 寿 一 消 防 主 幹
飯 田 武 志 監 査 委 員	田 中 勝 男 教 育 委 員 長
大 滝 昌 利 教 育 長	安 部 嘉 徳 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長
小 関 秀 一 農 業 委 員 会 会 長	梅 津 和 士 農 林 課 長

齋藤 理喜夫	商工観光課長	浅野 敏明	建設課長
梅津 敏昭	管理課長	那須 宗一	文化生涯学習課長
遠藤 正明	農業委員会事務局長	鈴木 要一郎	水道事業所長
堀 邦夫	学校給食共同調理場長	沼澤 厚子	監査委員事務局長

### 事務局職員出席者

佐藤 仁	議会事務局長	児玉 行宏	補佐
五十嵐 恵美子	庶務係長	塚田 知広	主事

### 議事日程（第3号）

平成19年3月7日 水曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
- 16番 藤原 民夫 議員
  - 4番 谷口 栄子 議員
  - 17番 蒲生 吉夫 議員
  - 1番 我妻 昇 議員

### 本日の会議に付した事件

議事日程（第3号）に同じ

## 開 議

○大沼 久議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、山形新聞社長井支社長からはパソコン使用について、米沢日報記者からはカメラ等の使用についての申請があり、それぞれ許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議時日程第3号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

○大沼 久議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

これより政党代表質問を行います。

それでは、順次ご指名いたします。

#### 藤原民夫議員の質問

○大沼 久議長

順位5番、議席番号16番、藤原民夫議員。

(16番藤原民夫議員登壇)

○16番 藤原民夫議員 おはようございます。

私は、日本共産党を代表し、市長並びに関係課長に質問をするものであります。

通告しております第1点は、北海道夕張市議会の財政再建計画を議決したとのマスコミ各紙

の報道から、長井市が学ぶべきものは何かということでもあります。

夕張市議会は、去る2月28日の市議会において、353億円の赤字を2024年までの18年間をかけて返済する財政再建計画を賛成多数で議決したということでもあります。

山形新聞の報道では、「計画は住民負担を増加させ、人口減少・流出の加速化も予想されるため、計画どおりの再建が進むかは不透明だ」としております。また、しんぶん赤旗では、「財政再建計画の内容として、個人市民税の引き上げやごみ処理有料化などの行政負担で歳入を確保する一方、職員数の削減など人件費の縮減や事業の中止・縮小で歳出を抑制する内容だ」と、こういう報道であります。

さらに具体的には、市税については、個人市民税は均等割を現行の月3,000円から3,500円にアップする。また、固定資産税も税率を1.4%から1.45%に引き上げる。下水道使用料や各種施設使用料も引き上げるということでもあります。

また、歳出削減のうち人件費抑制では、一般職の給与月額を4月から平均30%削減、全国で最も低い給与水準とする。そして市長ら特別職は当面退職金を支給しない。さらに市民生活に必要な事務事業以外は原則廃止するとして、市民法律相談や敬老祝い金の贈呈などをこれに上げているということでもあります。

また、石炭博物館など主要な観光施設は道内の大手観光業者に運営を委託するなど、徹底した合理化を進めるということでもあります。

また、65歳以上が4割と高齢化が進む夕張市は、医療体制の確保や除雪対策は切実な課題であります。ところが、市は、除雪車出動基準を積雪10センチから15センチに変更したということ。これに対して市内の労働組合や民団体などが、「がんばろう夕張・北海道連絡会」というのをつくって募った除雪募金は約25万円に上ったなど、地域の再生を求めて、自分たちの最